



平成22年度 収支予算と事業計画〔要約〕

平成22年度事業計画の重点事項

22年度は、国内外の情勢が大きく変動する中、3か年経営計画の2年目として、新たなデジタル時代に向け、諸計画を達成するための取り組みを確実に進めます。

- 1 視聴者のみなさまの信頼を高めるため 組織風土改革に全力をあげます
- 2 日本の課題、地球規模の課題に真正面から向きあいます
- 3 放送・通信融合時代の新サービスで公共放送の役割を果たします
- 4 地域を元気にするための拠点となります
- 5 日本を、そしてアジアを、世界に伝えます
- 6 円滑な完全デジタル化に向けて重点的に取り組みます
- 7 構造改革を推し進め 効率的な体制で 受信料の価値をより大きくします
- 8 受信料を公平に負担していただくための取り組みを強化します
- 9 環境経営に着実に取り組みます

収支予算

(単位 億円)

区 分	平成21年度 予 算 額	平成22年度 予 算 額	増 減 額	増 減 率
事 業 収 入	6,699	6,786	87	1.3%
受 信 料	6,490	6,550	60	0.9%
その他の事業収入	208	236	27	13.1%
事 業 支 出	6,728	6,847	119	1.8%
国内放送費	2,858	2,848	△ 10	△ 0.4%
国際放送費	129	139	10	8.1%
契約収納費	579	583	4	0.8%
人件費 ^{※1}	1,834	1,823	△ 10	△ 0.6%
デジタル化追加経費	100	252	152	152.5%
その他の事業運営費	293	276	△ 16	△ 5.8%
減価償却費等	933	923	△ 10	△ 1.1%
事業収支差金	△ 29	△ 61	△ 32	—
建 設 費	802	※2 790	△ 12	△ 1.5%

※1 給与および退職手当・厚生費

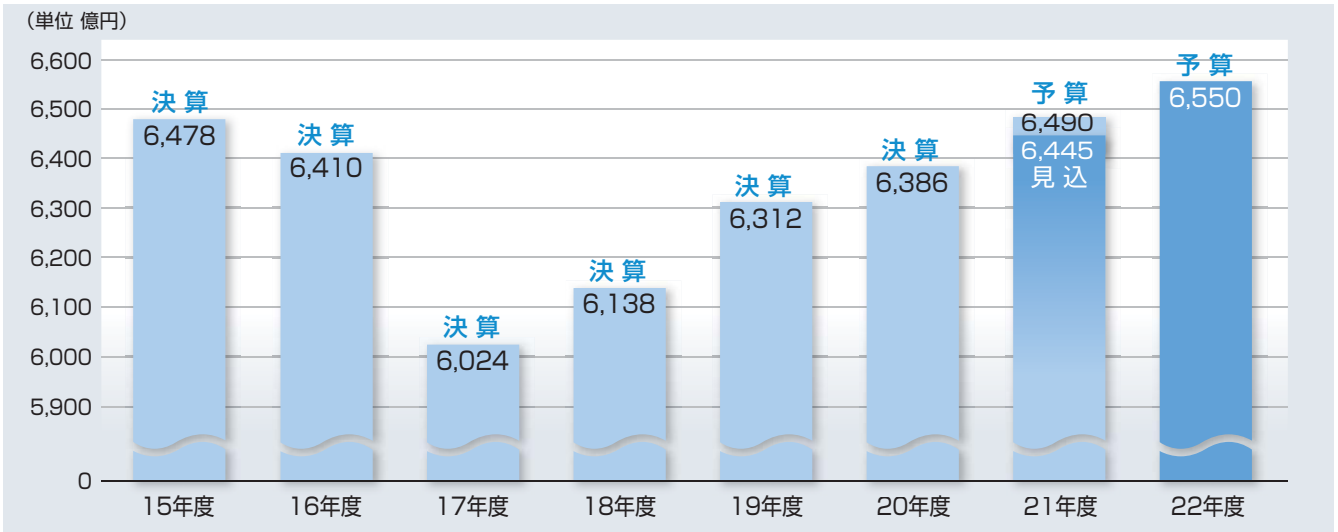
※2 テレビ放送の完全デジタル化に向けた設備投資387億円含む

(億円未満は切り捨てて表示しています)

受信料収入

平成22年度は、公平負担の徹底をさらに推進し、支払率の向上を図ります。予算は、21年度の6,490億円を60億円上回る6,550億円を目指します。

受信料収入の推移



受信契約件数等の年間増減

(単位 万件)

区分	20年度決算	21年度予算	21年度見込	22年度予算
受信契約件数	22	30	25	35
年度末件数	3,662	3,689	3,687	3,722
うち衛星契約	53	60	65	65
年度末件数	1,387	1,439	1,452	1,517
未収削減	△ 25	△ 25	△ 20	△ 20
年度末件数	243	225	223	203
支払率	71.7%	72.2%	72.4%	73.4%

テレビ放送の完全デジタル化に向けた取り組み

デジタル中継局など送信設備の着実な整備

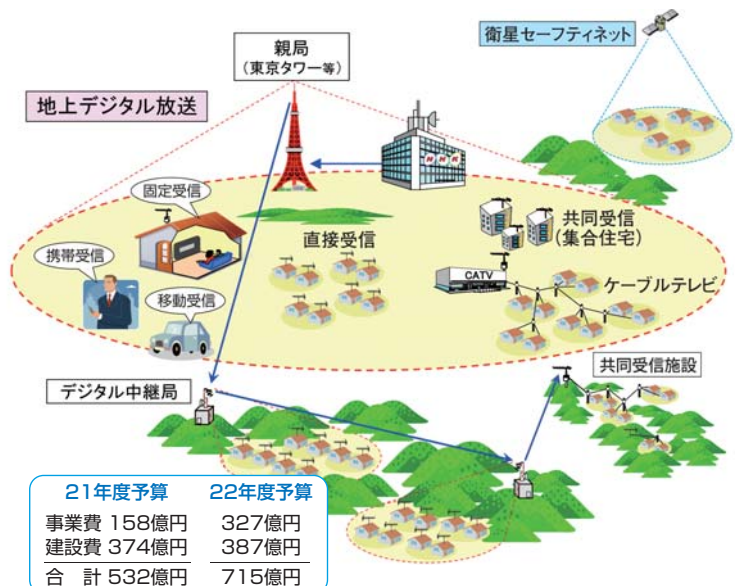
- デジタル中継局や放送局内の設備のデジタル化対応等、必要な施設・設備の重点投資

デジタル難視聴対策など国や民放等と連携した受信環境整備の支援

- デジタル化で電波が受信できなくなる地域の新たな難視聴対策や混信対策
- 地上デジタル放送の難視聴地域における共同受信施設等への経費助成
- 全国の「総務省テレビ受信者支援センター」に協力、デジタル相談に対応

アナログ放送終了に向けた周知広報活動の推進

- アナログ放送終了に向けて、番組等を通じた周知広報活動を強化



平成22年度の主な番組など

総合

「あさいち」〈月～金・前8～9時台〉
 「新感覚ゲーム クエスト」〈木・後8時台〉
 「みんなでニホンGO!」〈木・後10時台〉
 「Bizスポ」〈月～木・後11時台〉、「Bizスポ・ワイド」〈金・後10～11時台〉
 スペシャルドラマ「坂の上の雲」(第2部)〈12月〉
 NHKスペシャル「アフリカンドリーム」
 「ゲゲゲの女房 連続テレビ小説」〈月～土・前8時台〉
 大河ドラマ「龍馬伝」〈日・後8時台〉

教育

「みいつけた!さん」〈日・前7時台〉
 「テストの花道」〈月・後6～7時台〉
 「極める!」〈月・後10時台〉
 「リトル・チャロ2 英語に恋する物語」〈月～木・後11時台〉

ラジオ第1

「渋谷アニメランド」〈火(隔週)・後8時台〉
 「渋マガZ」〈日・後7～9時台〉
 「とっておきラジオ」〈土・日・後4時台〉

ラジオ第2

「リトル・チャロ2 心にしみる英語ドラマ」〈月～金・前7時台〉
 「中国語ニュース」「ハングルニュース」〈月～日・後6時台〉

F M

「ラジオマンジャック」〈土・後4～5時台〉
 「松尾潔のメロウな夜」〈水(月3回)・後11時台〉



大河ドラマ
 「龍馬伝」
 1月3日放送
 第1回「上土と下土」

衛星ハイビジョン

「地球ドキュメント ミッション」〈日・後9時台〉
 「いのちドラマチック」〈水・後9時台〉
 「プラネット ベービーズ」〈木・後9時台〉
 「プレミアムシアター」〈土・後10時～前2時台(7月から 後10時～前1時台)〉

衛星第1

「関口知宏のオンリーワン」〈土・後11時台〉
 「ガッちゃん!」〈金・後11時台〉
 「地球アゴラ」〈日・後10時台〉

衛星第2

「ザ☆スター」〈土・後8～9時台〉
 「熱中スタジアム」〈金・後10時台〉
 「BSアーカイブス名作選」〈土・後11時～前1時台〉

●2010FIFAワールドカップ南アフリカ(平成22年6月11日～7月11日)

視聴者のみなさまとともに考え、ともに作る番組やイベントに取り組みます。

- **地域** 地域の課題に向き合う「目撃!日本列島」の放送や、地域文化を発信するイベントの実施
- **防災** 防災の日に関連した特集番組、「NHK防災キャンペーン」の全国展開
- **福祉** 「子どもサポートネット」の展開、「NHKハート展」「NHK歳末・海外たすけあい」の実施
- **食料** 「産地発!たべもの一直線」、「ふるさとの食にっぽんの食フェスティバル」の実施
- **環境** 「SAVE THE FUTURE」、環境にスポットを当てたイベントの全国展開

いつでも、どこでも、もっと身近に (NHKコンテンツの“3-Screens”展開)

視聴者のみなさまが、いつでも、どこでも、NHKの信頼できる
 確かな情報・コンテンツを見られる利用環境を整備します。

クロスメディア展開

- 災害・気象情報や双方向学習ができるデジタルコンテンツの提供

ワンセグ独自放送

- 携帯端末にふさわしい番組や情報を提供

デジタルアーカイブスサービス

- 保存している映像や音声を視聴者の関心や利用目的に合わせた形で提供
 (NHKクリエイティブライブラリー等)



NHKオンデマンドの充実 (インターネットで有料配信する動画サービス)

「見逃し番組」サービス

「大河ドラマ」「連続テレビ小説」などを毎週120番組以上配信し、放送後10日間程度で閲覧いただけるサービス

「特選ライブラリー」サービス

過去の名作ドラマや「NHKスペシャル」といった大型ドキュメンタリー番組など、NHKの豊富な映像資産を配信するサービス



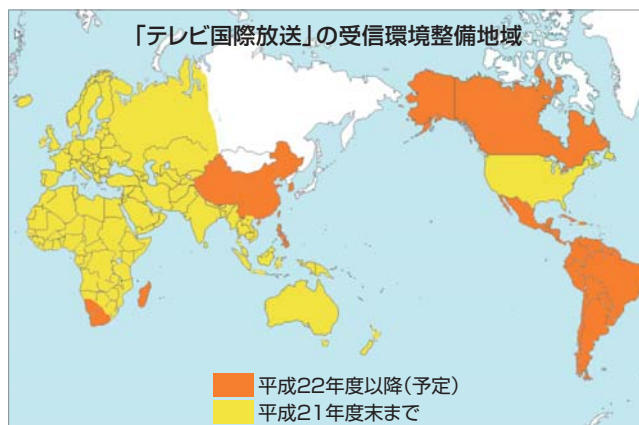
国際放送による情報発信の強化

- 24時間英語ニュースや独自英語番組、英語化番組を充実させ、日本・アジアの情報発信を強化
- ハイビジョン放送の実施や、ニュース・番組のインターネット配信をさらに充実



「ASIA BIZ FORECAST」

- 海外での受信環境整備として、中国・中南米各地域の衛星借用の推進等により受信可能世帯を拡大



視聴可能世帯数 22年度末目標:約1億3,000万世帯

視聴者のみなさまの声を反映した経営改革

- 経営改革の推進とともに、人材育成の強化とコンプライアンスの徹底により、組織風土の改革を図ります。
- コールセンターやふれあいミーティングなど、視聴者のみなさまのご意見を迅速に経営へ反映させる回路を充実します。
- 構造改革を推進し、経営資源の重点配分を図りつつ、すべての部門を聖域なく見直し、支出を抑制します。
- NHKグループ全体で最適な経営を目指すとともに、取引の競争を推進し、効率的な業務運営を図ります。

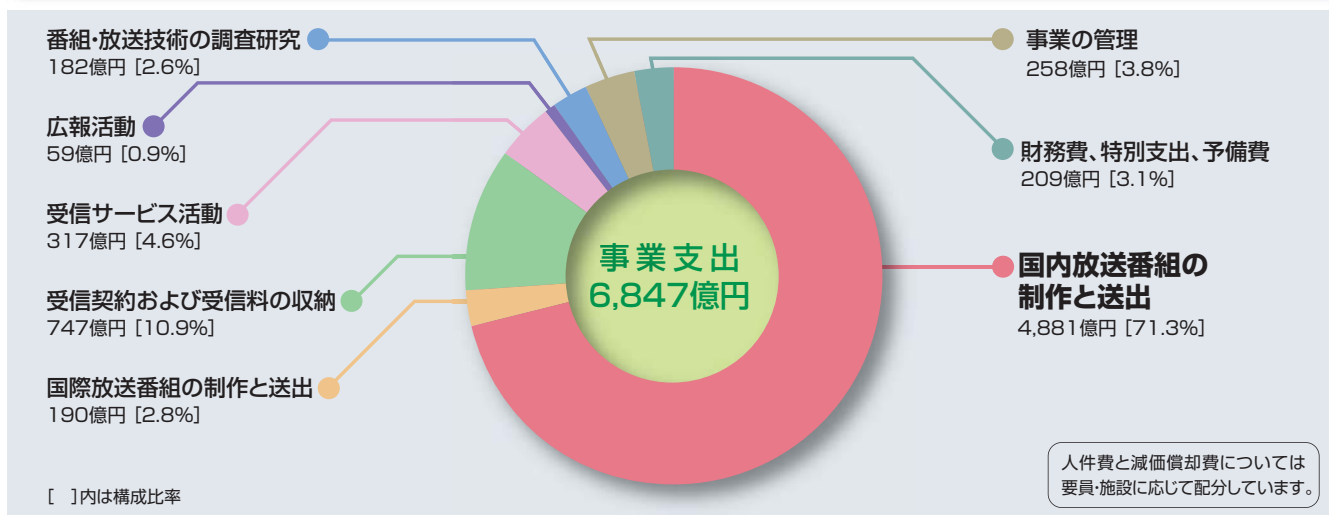


コールセンター(新コールセンターは10月運用開始予定)



ふれあいミーティング

業務別予算(人件費・減価償却費を含む)



予算や決算に関する詳しい資料はNHKのホームページでもご覧になれます。 <http://www.nhk.or.jp/pr/>